

平成 26 年 8 月豪雨

広島土砂災害への道路啓開(土砂撤去)支援

— 被災者の方々に寄り添う気持ちで TEC-FORCE 活動 —

中国地方整備局 広島国道事務所

1. はじめに

昨年 8 月 20 日未明に広島県広島市で発生した豪雨による土砂災害は、平成 11 年 6 月の梅雨前線による広島土砂災害と比較して、非常に狭いエリアで月平均降水量をはるかに超える強い雨が極めて短時間に集中して降った事による大規模な土砂災害でした。

この土砂災害によって 73 名（広島県土木局砂防課調べ）もの尊い命が失われ、350 以上の家屋が全半壊するという甚大な被害を受けました。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。



航空写真

※この写真は、国土地理院がホームページ上に公表した斜め写真（H26.8.20 撮影）をトリミングしたものです。

http://saigai.gsi.go.jp/1/h26_0816ame/hiroshima/naname/qv/5D5A0371.JPG

2. TEC-FORCE（国土交通省緊急災害対策派遣隊）の支援活動

国土交通省では、被災当日の 8 月 20 日から広島県及び広島市ヘリエゾンを派遣するとともに、災害対策用ヘリコプターにより上空から被害状況の把握を実施し、併せて照明車などの災害対策車両 10 台を現地へ派遣しました。

また、被災当日には中原国土交通大臣政務官が被災状況確認に現地入りし、翌 21 日には、太田国土交

通大臣が広島市の被災現場を訪れ、被災状況を確認するとともに TEC-FORCE 隊員等に救命・救助、2次災害防止に全力で取り組むよう指示がなされました。

中国地整他5地整と国総研、土木研究所から派遣された TEC-FORCE は、捜索活動の安全確保や2次災害防止のため溪流の危険度調査を開始し、8月30日に一次点検結果を公表、引き続き実施した二次点検も9月2日で終了しました。

3. TEC-FORCE による土砂撤去について

TEC-FORCE がこれまでに実施してきた活動に加え、今回の災害においては広島市からの支援要請を受け、市道や用水路などの被災地域に堆積した土砂が復旧活動の支障となっていたことから、八木用水の土砂撤去を太田川河川事務所が主体となる河川班が、道路については他地整からの TEC-FORCE 隊員とともに広島国道事務所が主体となった道路班が市道等の土砂撤去支援を担う事となりました。

今回の豪雨災害では、広島国道事務所が管理する国道54号でも大林地区と八木地区の2箇所です砂流出により通行止めが発生しましたが、保守工事業者の精力的な働きにより何とかその日のうちに交通開放を行い、1車線規制が残った八木地区についても土留め防護柵を設置して23日(土曜日)の夕方に全面開放となりました。

23日当日は、国道54号八木地区の車線規制解除に向けた作業に併せ、災害協定協力会社とともに事務所職員が手分けして、広島市から要請を受けた可部東地区、八木地区の現地調査と土砂撤去に取りかかり、現地を事前に下見しておいた事で週明けからの本格的な土砂撤去等の段取りがスムーズに行えました。



国道54号八木地区の土砂流出



復旧状況(土工用防護柵設置後)

4. 土砂撤去 TEC-FORCE 隊員の苦勞

土砂撤去の現地に広島国道事務所職員が入るとそこには土砂、瓦礫、流木、車両が市道等に山積しており、沢からの流水もまだ止まっておらず、どこから手をつければという状況でした。また、市道が土石流によりえぐられた地域では、移動手段もままならない惨状でした。

特に多くの住民が生活しながら復旧作業を実施した緑井7丁目、8丁目地区では、日々の地元自治会会合へ参加するなど住民の意見や要望をくみ上げて翌日の作業に反映するなど、地域住民と密着した活動に心がけました。

今回実施した道路啓開(土砂撤去)支援では、これまでの直轄災害では経験することの無い作業も多く、職員も関係機関との調整には苦勞しました。

救命・救助活動を第一に優先する事から自衛隊、警察、消防との連携・調整が不可欠であるため、広島国道事務所と八木地区へ設置した災害後方支援車で現地捜索本部とは逐一連絡を取り、捜索活動に併せ

た土砂搬出の機械やダンプ手配を行いました。これらの即時対応の手配については協力会社の皆さまのご協力に感謝いたします。

また、9月に避難指示区域が避難勧告区域になってからは、全国からボランティアの方々が民地内の家屋の土砂撤去に参加される事となり、狭い道路での輻輳した作業が続きましたが、お互いに協力しあいながら土砂撤去作業を進める事ができました。

土砂撤去作業は概ね1ヶ月で目途を立て、9月20日までに順次広島市へ引き継いでいく事が出来ました。



緑井7丁目の被災状況



復旧状況



ボランティアとの協働作業で水路清掃



地元自治会との連絡調整状況

5. 終わりに

今回の広島での災害支援活動では、従来の TEC-FORCE による被災状況調査や被害拡大防止などの技術的支援だけでなく、人命救助や捜索活動への支援となる土砂撤去等の活動を、災害支援協定に基づいた地元建設会社の方々の協力を得て初めて実施したものです。

発災から1ヶ月という短期間に大きな事故も無くやりとげる事ができたのも、建設業協会として日頃からの災害への備え、初期対応の取り組みの賜と思います。

中国地方整備局及び管内事務所からの要請に対して、快く協力して頂いた建設会社の職員の皆さん、また重機やダンプ等の運転手、作業員の皆さん、また近畿・四国・九州地整から出動頂いた TEC-FORCE 隊員の皆さんに改めてお礼を申し上げます。

広島国道事務所では、昨年6月に発足した広島県内の道路管理者で構成する「広島県道路メンテナンス会議」の事務局として道路の老朽化対策に取り組んでいます。災害に強い国土づくりに向け頑張っていく所存です。

広島市の被災地の復興・復旧が進むよう心から祈念いたします。